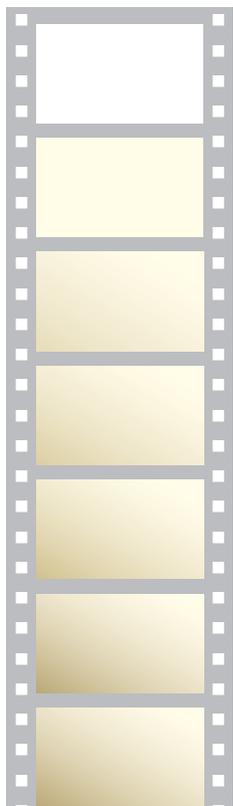
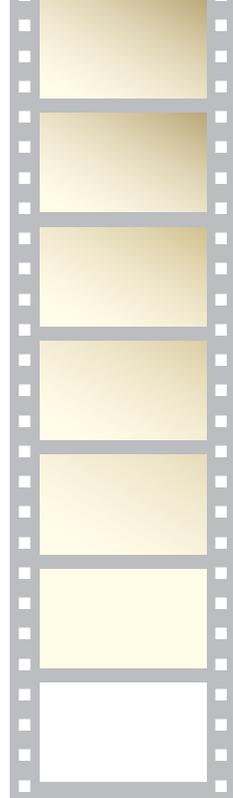


伸<sup>ノブ</sup>さんのシネマトーク

鈴木 伸夫



## 第五十九回 「体育はゴルフ」③

大学の授業で「ゴルフ」のルールなどを学び、コースに一度出て、プレーをして多くのゴルフ入門は終わりました。それ以来、全くゴルフには縁がありません。（本当は、体の運動のためにも、頭の体操のためにもプレーしたほうがいいのですが…）今回の「シネマエッセイ」は、ゴルフをテーマにした映画をご紹介します。意外と少ないのに驚きました。（いや？ぼくが知らないのかも…）

基本の確認をします。

野球は9回で終了ですが、ゴルフは18あるホール（カップ）のトータルストローク（全打数）で勝ち負けを決めるスポーツです。

従って打数が少なければ少ないほど、優秀なプレイヤーということになります。

18あるそれぞれのホールには、難易度により、3から5までの基準打数が設定されています。基準打数でホールに入ればパー。1打少ない（アンダー）とバーディー。2アンダーでイーグル、3アンダーならアルバトロスとなります。反対に1打多け

れば（1オーバー）でボギー、2オーバーならダブルボギー、3オーバーはトリプルボギー、4オーバーはダブルバーとなります。

ゴルフが映画のなかに登場するのは、チャップリンの時代からありました。これはサイレント（無声）二巻物（30分）の作品です。

※「チャップリンのゴルフ狂時代」（のらくら）

21年製作・アメリカ映画

原題THE IDLE CLASS

製作・監督・脚本チャールズ・チャップリン

出演チャールズ・チャップリン

エドナ・パーヴィアンス

旧邦題名は「のらくら」（なまけ遊んで日を送るさま、また、その人。のらくらりの意味。）リッチマン（富豪）、プアマン（放浪者）の二役をチャップリンが演じます。「キッド」に続く69本目の作品。

去年（12年）は007シリーズ製作から50周年を数え、最新作（第23作）「007 スカイフォール」が公開されました。シリーズの中でゴルフの対決があるのはこの作品。

※「007／ゴールドフィンガー」

64年製作・イギリス映画

監督ガイ・ハミルトン

出演ショーン・コネリー

オナー・ブラックマン

音楽ジョン・バリ

シリーズ3作目。ゴールドフィンガー（ゲルト・フレベ）と007がゴルフの対決をします。ゴールドフィンガーのキャデイーに扮するのは日系アメリカ人「ハロルド坂田」（オッド・ジヨブ役）。彼のデビュー作です。元重量挙げの選手（48年のロンドン<sup>オリンピック</sup>五輪で銀メダルに輝く）でプロレスラー。映画の中では、ボディーガードもゴルフボールのすり替えも演じました。

ハロルド坂田は、82年肝臓ガンのため死去。享年62歳でした。

次は、朝鮮戦争が舞台の映画ですが、ベトナム戦争を皮肉った映画でした。ゴルフとどこに関係があるのでしょうか？

※M★A★S★H (移動米軍外科病院の略称)

70年製作・アメリカ映画

監督ロバート・アルトマン (オルトマンとも書く)

出演ドナルド・サザーランド (テレビシリーズ「24時」のキーファーサザーランドは彼の息子)

トム・スケリット

エリオット・グールド

音楽ジョニー・マンデル

カンヌ国際映画祭グランプリ受賞

アカデミー賞脚色賞受賞

好評により72年「テレビシリーズ」化される



「007／ゴールドフィンガー」のハロルド坂田と  
「マッシュ」のパンフレット  
(当時のゴルフウェアか?)

朝鮮戦争を舞台に野戦病院へ派遣された3人の軍医を描くブラックコメ  
ディー。負傷した国会議員の息子の命を助けるため、九州・小倉へ出張を命ぜ  
られる軍医たち。二つ返事で引き受けるのでした。そこには、ゴルフ場があつ  
たからです。

(続)

文中敬称略

伸

平成25年2月